

データヘルス計画(第1期) 事業評価
(平成28年度～平成29年度)

1 健康課題の解決に向けた目標

(1) 事業目標

第1期では、本市の現状分析や健康課題から下記の事業目標を設定しました。
(事業目標)

- ・ 特定健診受診者の生活習慣改善
- ・ 特定健診受診率の向上
- ・ 特定保健指導実施率の向上
- ・ 生活習慣病有病者・予備群の減少
- ・ 保健指導実施者のHbA1cの悪化予防
- ・ 受診勧奨を受けた者の医療機関受診率の向上

(2) 重点施策

事業目標の達成に向けた重点施策は以下のとおりです。

1 糖尿病の予防啓発

若い世代の特定健診受診者（40歳以降）に対して、生活習慣の改善や見直しを促すため、糖尿病等の生活習慣病予防の啓発を推進します。

2 特定健診の推進

メタボリックシンドローム該当者および予備群を減少させるため、特定健診の受診率を向上させる取り組みを進めます。

3 特定保健指導の推進

メタボリックシンドローム該当者および予備群を減少させるため、特定保健指導の実施者の割合を向上させる取り組みを進めます。

4 HbA1c保健指導判定値の人への早期対応

HbA1cが高い人や非肥満高血糖者等に対する保健指導の取り組みを推進します。

5 医療機関未受診者への受診勧奨

特定健診受診者で受診結果に基づきハイリスクに分類される人に対して、医療機関への早期の受診を勧奨します。

2 具体的な取り組み

(1) 糖尿病の予防啓発

実施体制	健康づくり主管課（保健師・管理栄養士）
事業の目的・概要	特定健診受診者が糖尿病について正しく理解し、糖尿病を予防するために、生活習慣を見直し、改善していけるような内容の情報提供用リーフレットを配布する。
対象者	特定健診受診者
事業の内容	糖尿病の解説を盛り込んだ情報提供用リーフレットを作成し、草津市および栗東市の医療機関に配布の周知を図り、特定健診受診者に配布する。
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・検査数値の見方に加え、ヘモグロビンA1cや糖尿病合併症等、糖尿病に特化したリーフレットを作成し、特定健診の受診者に対し、実施医療機関で結果返し時に配布した。 ・実施医療機関に対しては、がん検診物品配布時に必要性を添えて配布依頼を行った。 <p>平成27年度 3,557部 平成28年度 5,427部</p>

(2) 特定健診の推進

実施体制	国保主管課（国保担当）
事業の目的・概要	市民が自分の健康状態を把握できるよう、メタボリックシンドロームに着目した検査項目での健康診査を毎年度、計画的に実施する。
対象者	40歳から74歳までの被保険者
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○受診対象者に対する通知 ○未受診者に対する通知と電話による勧奨
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の対象者に対し、5月下旬に「特定健康診査のご案内」および「特定健康診査受診券」を送付した。 平成27年度 19,380名 平成28年度 19,164名 ・平成28年度に、特定健診の無料化を行った。 ・未受診者に対し、受診勧奨通知を送付した。 平成27年度 9月 9,947件 12月 14,220件 平成28年度 9月 9,986件 12月 14,197件 ・平成27年度から嘱託保健師を雇用し、電話による受診勧奨を行った。 平成27年度 1,713名（40歳～64歳前年度未受診者） 平成28年度 4,005名（基準値以上の未受診者等）

(3) 特定保健指導の推進

実施体制	健康づくり主管課（保健師・管理栄養士）
事業の目的・概要	メタボリックシンドロームの該当者および予備群を減少させることを目的に、生活習慣病予防のための保健指導を実施する。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動機付け支援対象者 ・ 積極的支援対象者
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業所委託により、専門職による利用勧奨の電話を3回以上実施 ○ 訪問による利用勧奨および支援
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者に対し電話による利用勧奨を実施した。 平成27年度 418件 平成28年度 407件 ・ 平成28年度に1か月間、試験的に夜間の電話勧奨を行った。 (平成29年2月：15件うち1件申し込み)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者に対し電話勧奨・訪問勧奨を実施した。 平成27年度 電話 11件 訪問 111件 平成28年度 電話 52件 訪問 69件

(4) HbA1c 保健指導判定値の人への早期対応

実施体制	健康づくり主管課（保健師・管理栄養士）
事業の目的・概要	糖尿病のリスクを理解し、糖尿病発症予防のために、生活習慣が改善できるよう保健指導を実施する。
対象者	HbA1cが保健指導判定値（5.6～6.4%）の40歳代
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣病相談の案内と糖尿病予防啓発のリーフレット送付 ○ 生活習慣病相談の実施
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者に対し生活習慣病の案内と糖尿病リーフレットを送付し、生活習慣病相談への電話勧奨を実施した。 平成27年度 73件 平成28年度 83件 ・ 平成28年度から各個人にあてて自筆のメッセージをつけて送付した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申し込みのあった人に生活習慣病相談を実施した。 平成27年度 8名(11.1%) 平成28年度 14名(16.9%) (平成29年7月現在)

(5) 医療機関未受診者への受診勧奨

実施体制	国保主管課（国保担当、保健師）
事業の目的・概要	生活習慣病の重症化予防を目的に、医療機関への受診勧奨を実施する。
対象者	特定健診の受診結果から、生活習慣病のリスクが高いと判断される者
事業の内容	手紙、電話、訪問のいずれかの方法による医療機関への受診勧奨
具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 特定健診の結果、生活習慣病の重症化リスクのある者かつ医療機関未受診者に対し、受診勧奨の通知を送付し、通知後未受診者に対しては電話勧奨を実施した。 平成 27 年度 170 名 平成 28 年度 225 名・ 平成 28 年度からアンケートを同封し、返信を求めた。 平成 28 年度 アンケート返却者 82 名

3 重点施策の現状分析と課題

- ・第1期計画で定める重点施策に基づく具体的な取り組みについて、事業の評価を行うとともに、滋賀県国民健康保険団体連合会の「保健事業支援・評価委員会」での意見や評価を受けました。
- ・第1期の評価結果に基づき、今後の方向性と具体的な取り組みを定めました。

事業目標	アウトプット			アウトカム			
	事業内容	現状値	目標値	指標	実績値		目標値
		(平成28年度)	(平成29年度)		(平成27年度)	(平成28年度)	(平成29年度)
1 糖尿病の予防啓発							
特定健診受診者の生活習慣改善	糖尿病の情報提供用リーフレットの配付	76.7%	100%	継続受診者の質問票項目「1回30分以上軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施」しない人の割合	46.9%	46.9%	50%
				継続受診者の質問票項目「人と比較して食事速度が速い」人の割合	23.4%	23.8%	24%
				継続受診者の質問票項目「生活習慣改善取り組み済み6か月以上」の人の割合	26.7%	25.4%	25%
2 特定健診の推進							
特定健診受診率の向上	受診対象者に対する通知	100%	100%	特定健診受診率	36.7	37.8 (H29.7月末時点)	60%
	・未受診者に対する通知 ・電話による勧奨	100%	100%				
3 特定保健指導の推進							
・特定保健指導実施率の向上 ・生活習慣病有病者・予備群の減少	事業所委託による利用勧奨電話(3回以上)	81.6%	100%	動機付け支援実施率	16.4%	15.8 (H29.7月末時点)	60%
				保健指導実施者の平均体重減少率	-0.7%	—	-3%
	利用勧奨および支援(訪問)	84.1%	100%	積極的支援実施率	9.9%	9.8 (H29.7月末時点)	60%
				保健指導実施者の平均体重減少率	-3.0%	—	-5%
4 HbA1c保健指導判定値の人への早期対応							
保健指導実施者のHbA1c悪化予防	・生活習慣病相談の案内 ・糖尿病予防啓発リーフレット送付	100%	100%	保健指導実施者のHbA1c悪化率	2.0%	—	0%
	生活習慣病相談の実施	16.9%	40%				
5 医療機関未受診者への受診勧奨							
受診勧奨を受けた者の医療機関受診率向上	医療機関への受診勧奨(手紙、電話、訪問)	100%	100%	医療機関受診率 内訳 (血圧) (脂質) (血糖) (腎機能)	33.8% (30.8%) (29.1%) (45.2%) (—)	60.9% (49.1%) (47.8%) (51.4%) (85.7%)	60%

【現状評価】

- ◎・・・目標達成
- ・・・改善傾向
- △・・・改善傾向だが、現状で目標を達成していない
- ×・・・悪化傾向
- －・・・未確定（平成28年度の実績が未確定による）

現状評価と課題（平成28年度評価）			
評価	アウトプット評価	アウトカム評価	課題
○	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの内容は、HbA1c等の検査数値の意味や基準等の説明がわかりやすいと好評であった。 ・受診者自身の生活習慣の振り返りに効果があり、良い生活習慣の維持につながった。 ・医療機関によってリーフレットの配布率に差が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指標の「運動」および「食事速度」の実績は、改善傾向だが、目標に達していない。 ・指標の「生活習慣改善取り組み」の実績は、目標値に達している。 ・全体評価としては、「改善傾向」である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全受診者にリーフレットがいきわたるように実施医療機関へのさらなる働きかけが必要である。
△	<ul style="list-style-type: none"> ・受診対象者に対する通知を確実にに行った。 ・未受診者に対する通知を確実にを行い、受診勧奨電話の実績件数が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・40歳代の男性、40歳代および50歳代の女性の受診率が低い状況である。 ・継続・新規受診者の受診率が低下傾向であり、不定期受診者等の受診率は横ばいである。 ・受診勧奨電話の実績件数の増加が受診率向上につながった。 ・全体評価としては、「改善傾向だが、目標値に達していない」である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受診勧奨通知の内容や、電話での説明内容、対象者の抽出方法を工夫する必要がある。 ・40歳代および50歳代の未受診者や不定期受診、継続・新規受診者に対する受診勧奨の取り組みを拡充する必要がある。 ・受診率の高い年齢層に対しても、継続受診に向けた取り組みを行う必要がある。
△	<ul style="list-style-type: none"> ・電話による利用勧奨の実績が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳代の男性、高齢の女性の終了率が低い状況です。 ・電話による利用勧奨の実績の増加が実施率向上につながった。 ・全体評価としては、「改善傾向だが、目標値に達していない」である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話勧奨時の不在者に対する再勧奨通知等による働きかけの工夫が必要である。 ・60歳代の男性等、対象者に比して終了率が低い年代に対する働きかけ等、実施率向上に向けた取り組みが必要である。
－		<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導の実施が平均体重減少率の目標値に達していない。 	
×	<ul style="list-style-type: none"> ・電話や訪問により積極的支援対象者に直接的な利用勧奨を実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話や訪問による勧奨が実施率の向上に結びつかなかった。 ・全体評価としては、「悪化傾向」である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法等の工夫により実施率向上に向けた取り組みが必要である。
－	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的支援対象者やご家族から具体的な未利用の理由を把握することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導の実施が平均体重減少率の目標値に達していない。 	
－	<ul style="list-style-type: none"> ・案内を見て、血液検査の結果等の健康状態を意識する方が多く、参加者には生活習慣を振り返るよい機会となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度健診受診者の6名中2名は改善の取組みができていないと問診で回答している。 ・保健指導がHbA1cの悪化予防に寄与できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導参加率の向上に向けた取り組みが必要である。 ・保健指導参加者の行動変容につながる保健指導を実施できるよう指導者のスキルアップが必要である。
◎	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者に対する通知を確実に行った。 ・診療報酬明細書(レセプト)に加え、アンケートで受診状況の把握に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬明細書(レセプト)に加え、アンケートで受診状況の把握に努めたことが受診率向上につながった。 ・全体評価としては、「目標達成」である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受診勧奨通知の内容や、電話での説明内容、対象者の抽出方法を工夫する必要がある。